

学習のまとめと表現

第3章の学習を振り返って整理しよう

教科書 p.124~126

1 STEP

次の問いに答えよう。

① 比例代表

② 議院内閣

③ 行政改革

④ 再審

⑤ 違憲立法審査

⑥ (解答例)

国会の議決には、一般に両院それぞれの議決の一致が必要となる。しかし、一致しない場合には、国会での意思決定が遅れ、国の政治の停滞を招く。そこで、憲法では内閣総理大臣の指名や予算の議決など、いくつかの決定について衆議院により強い権限を認めている。これを衆議院の優越という。

⑦ (解答例)

裁判員制度とは、重大な刑事事件の裁判において、各地方裁判所が作成した裁判員候補者名簿からくじで選ばれた国民が、裁判に参加する制度である。被告人を有罪と判断した場合は、刑罰についても議論し判決を宣告する。裁判員の時間的・経済的な負担や、精神的な負担の軽減については、課題がある。

⑧ (解答例)

地域が抱えるさまざまな課題に対し、政府や企業、住民と協働してその解決に取り組むNPOなどの団体が増えている。営利を目的としない民間組織であるNPOは、さまざまな社会的問題の解決を目指して活動している。

⑨ ① 利害

② 訴え

③ 口頭

④ 和解

⑤ 検察官

⑥ 不起訴

⑦ 起訴

⑧ 被疑者

⑨ 弁護士

⑩ 公判

⑩	① 立法	② 選挙	③ 内閣総理大臣
	④ 内閣不信任	⑤ 解散	⑥ 世論
	⑦ 国民審査	⑧ 違憲立法	⑨ 裁判官
	⑩ 行政	⑪ 最高裁判所長官	⑫ 司法

2 STEP

資料を見ながら、次の問いに答えよう。

(解答例)

- ① 20～29歳の投票率が、ほかの年齢層の投票率に比べて低く、また年々下がっている。 / どの年齢も投票率が年々少しずつ下がっている。

(解答例)

- ② 政治のことがよく分からないから。 / 自分が投票したところで何も変わらないと考えているから。 / 仕事が忙しく選挙に行けないから。

(解答例)

- ③ 自分の生活に関係のある政策が増えてくるから。 / 政治への参画意識が高まるから。 / 政治のことが分かるようになるから。

選択される政策

- ④ (解答例) 年金や医療費、高齢者施設の整備など、高齢者にとって有利な政策や、短期的に効果が出る政策が選択されるようになる。

課題

(解答例) 少子高齢化対策や、子育て世代を応援する政策など、若い世代を対象とした政策が少なくなる。

- ⑤ (解答例) 若者の投票率を上げるためには、例えば、中学校・高校で選挙の方法を学ぶ授業に時間をかけたり、現在のニュースについて学ぶ授業を増やしたりするなど、政治に対する興味を高めることができるとよい。 / インターネットで投票ができるしくみが整えられるとよい。 / 職場、コンビニ、スーパーなど、負担がなく投票ができる場所を増やす。 / オーストラリアのように罰金を課すなど、投票をしないと損をするしくみをつくる。

第3章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。

第3章「私たちの暮らしと民主政治」全体のテーマ

「日本国憲法に基づいて行われているわが国の政治は、どのようなしくみとはたらきをしているのだろうか。」

① (解答例)

国の政治に「三権の分立」を取り入れているのは、行きすぎた権力の行使を防ぎ、立法・行政・司法のバランスが取れた政治を実現し、国民の自由と権利を保障するために必要なことだからだ。国民が国会議員を選挙で選んだり、最高裁判所裁判官の国民審査をしたり、世論を形成し、内閣に働きかけたりすることで、民主政治が機能していく。立法・行政・司法のそれぞれの機関が、緊張感をもって政治を行っていくことが重要である。私たち国民は、社会の一員として、さまざまな人々といっしょに毎日暮らしている。私たち自身のことは、私たち自身で決める必要がある。社会で暮らす多くの人たちが参加して政治を行う「民主政治」は、私たち国民の自由と権利を守り、よりよい社会を実現していくために必要である。

② (解答例)

あまりに大きな「一票の格差」がある場合は、それをできる限り改善し、格差を少なくすることが重要だと思う。一人ひとりの有権者がもつ1票の価値が等しい上で、人口の少ない地域でも多い地域でも、同じくらい自分の意見を政治に反映できる状態にするべきだろう。格差が残る選挙によって、反映されにくくなる声が存在することがないよう、より良い選挙制度への改善を図るべきだと思う。

③ (解答例)

大学への進学や就職を機に、若い人たちが他の地域に出ていき、その後戻ってこない状況が増えてきている。それによって、少子化と高齢化の進展が加速している。これを克服するためには、魅力のある地域をつくる必要があると思う。観光客を集めるために、さまざまなキャンペーンを行うことが考えられる。また、地域独自の特産品などを活用して、新しいブランドの商品を立ち上げ、全国に宣伝して販売することも効果的だろう。さらに、地域の食材を使った「食」に関連するイベントを開催することも、食材を扱う店舗の活性化も見込め、地域の良さを伝えるよい機会になるのではないだろうか。

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、
先生に質問してみましょう。



まっぴんぐま